

## 帝京大学 50 周年記念国際学術集会

### 第 10 回 帝京－ハーバードシンポジウム

(第 48 回アジア太平洋公衆衛生学術連合国際会議 (APACPH) 共催)

帝京大学板橋キャンパス 臨床大講堂

※個別の演題は変更可能性あり

#### 開会式

9 月 17 日 (土) 9 : 00～9 : 20

#### 1. 過去をしのぐ未来へ：社会を変える保健医療専門職の力

##### (1) われわれが望む未来の健康的な社会と保健医療専門職

9 月 17 日 (土) 9 : 20～11 : 30

##### 1) WHO の新しい保健医療専門職育成戦略 Workforce 2030

世界保健機関 (WHO) 保健人材部長 ジェームス・キャンベル

##### 2) 社会疫学の根拠に基づく人々の健康の実現

ハーバード大学公衆衛生大学院 教授

同大学院 社会行動科学部長 イチロー・カワチ

##### 3) 保健医療 2035 策定と今後必要な保健医療人材：グローバルヘルスに日本はいかに貢献するか

東京大学大学院医学系研究科 国際保健政策学 教授 渋谷健司

##### 4) 「実学」「国際性」「開放性」を通じたより良い社会をつくるための教育の力

帝京大学 学長 沖永佳史

#### 2. 過去をしのぐ未来へ：社会を変える保健医療専門職の力

##### (2) 科学的根拠に基づく実践と社会を変化させる保健医療専門職とは

9 月 17 日 (土) 13 : 00～15 : 00

##### 1) あなたの日常の診療の疑問は社会を変えうるかもしれない

－根拠に基づく治療とその実践、医療政策への反映－

オクスフォード大学ワダムカレッジ 准教授

アンドリュー・ファーマー

##### 2) 薬学部教育の変化の必要性 －実験と社会を結ぶこれからの教育－

帝京大学 副学長 井上圭三

##### 3) 公衆衛生教育の変化の必要性 －より多くの根拠とより優れたアドボカシー

豪州カーティス大学 公衆衛生大学院 教授

ブルース・メイコック (APACPH 事務局長)

4) 科学的根拠に基づく保健医療政策策定で社会を動かす

東京大学大学院医学系研究科 保健社会行動学分野教授 橋本英樹

3. 過去をしのぐ未来へ：社会を変える保健医療専門職の力

(3) 世界で進展する公衆衛生教育の変革

9 月 18 日 (日) 9 : 00 ~ 11 : 00

1) 21 世紀のリーダー育成のための公衆衛生専門職教育再考：

ハーバード大学の公衆衛生博士 (DrPH) 教育

ハーバード大学公衆衛生大学院教授 ピーター・バーマン

2) ハーバード大学における公衆衛生学修士号 (MPH) 教育改革

ハーバード大学公衆衛生大学院教授 マレー・ミッテルマン

3) アジア・太平洋地域における公衆衛生教育変革の必要性

マヒドン大学 アセアン保健開発研究所 所長 スパ・ペングピッド

4) 日本の公衆衛生大学院教育 今後めざすことと必要な人材

帝京大学大学院 公衆衛生学研究科 准教授 井上まり子

4. アジア太平洋の持続的開発目標としてのユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC) そして人材育成

9 月 18 日 (日) 13 : 00 ~ 15 : 00

基調講演： アジア太平洋地域における UHC の現状と今後の方針

WHO 西太平洋事務局 担当官 Xu Ke

UHC 達成のために必要なアジア・太平洋地域の保健医療人材とは？

(1) WHO ワーキンググループ・行政の立場から

タイ保健省 顧問 スウィット・ウィブルポルプラサート

(2) APACPH と教育者の立場から

東京大学大学院 医学系研究科 地域保健学教室 教授 神馬征峰

(3) 公衆衛生大学院の立場から

北京大学 公衆衛生大学院 院長 孟庆跃

(4) 国際機関で働く実務家の立場から

世界エイズ・結核・マラリア対策基金 (グローバルファンド)  
戦略・投資・効果局長 國井 修

※以上、すべて敬称略